



各位

会 社 名 株式会社アパマンショップホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 大村 浩次
(JASDAQ・コード8889)
問 合 せ 先 常務取締役 石川 雅浩
T E L 0 3 - 3 2 3 1 - 8 0 2 0

剰余金の配当(復配)に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、平成25年9月30日を基準日とする資本剰余金を原資とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、上記剰余金の配当は、本日公表の「資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ」に記載のとおり、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の効力が発生することを条件としております。

記

1. 剰余金の配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成25年7月31日発表)	前期実績 (平成24年9月期)
基 準 日	平成25年9月30日	同左	平成24年9月30日
1株当たり配当 金	普通株式 100円 A種優先株式 100円	0円	0円
配当金総額	普通株式 130百万円 A種優先株式 65百万円	—	—
効力発生日	平成25年12月24日	—	—
配 当 原 資	資本剰余金(注)	—	—

(注) 純資産減少割合 0.024(小数点以下3位未満切り上げ)

2. 剰余金の配当(復配)の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置付けて、業績の進展等を勘案しながら利益還元を努めること、並びに、内部留保金については、財務体質の強化と今後の事業展開に備え確保し、将来にわたる株主利益の向上に努めていくことを基本方針としておりますが、平成20年9月期に多額の当期純損失を計上し、以降繰越利益剰余金がマイナス(繰越損失)となったことから、平成20年9月期中間配当以降、約5年半にわたり配当を見送らせていただきました。

この間、当社グループでは、コア事業である斡旋事業及びプロパティ・マネジメント事業に経営資源を集中して営業収益の拡大を図るとともに、経営資源の効率化と費用削減による合理化を進展させることにより、外的経営環境の急激な変化に耐えうる安定した収益構造を確立する諸施策を推進してまいりました。当社は、これらの諸施策の結果、ここ数年にわたり、業績及び財務体質の改善が進み、今後の安定成長が可能な事業構造へのシフトが一定の成果を挙げることができたと考えられることから、財務基盤の改善と内部留保に留意しつつも、配当を行うに足る基盤が整ったものと判断し、5期ぶりに復配することといたしました。

なお、本件は本日付開示の「資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の効力が発生することを条件としております。

株主の皆様には、長期にわたり多大なるご迷惑をおかけして参りましたが、これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、今後も業績向上に邁進し、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

以上